

会 議 録

| | | |
|------------------------------|---|-----------------|
| 会議の名称 | 令和6年度第2回宍粟市地域公共交通会議 | |
| 開催日時 | 令和7年1月28日（火）14時～15時30分 | |
| 開催場所 | 宍粟防災センター5階ホール | |
| 議長（委員長・会長） 氏 名 | 富田副市長 | |
| 委員 氏 名 | （出席者） 別紙のとおり | （欠席者） 別紙のとおり |
| 事務局 氏 名 | 市民生活部：森本部長、朱山次長 まちづくり推進課：中尾次長兼課長・徳久阪係長・藤多主査、障がい福祉課：西家係長、一宮市民局：橋本主幹、波賀市民局：山内係長、千種市民局：田中主事 | |
| 傍聴人数 | 0人 | |
| 会議の公開・非公開の 区分及び非公開の 理由 | 公開・非公開 | （非公開の理由） |
| 決定事項 | <p>（議題及び決定事項）</p> <p>■ 議題</p> <p>（1）地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について</p> <p>（2）路線バスのバス停新設について</p> <p>（3）小型バス路線の運行日の変更案について</p> <p>（4）宍粟市地域公共交通会議財務規程の制定及び宍粟市地域公共交通会議規約の改正について</p> <p>■ 報告</p> <p>（1）路線バス・三方繁盛つれてってカーの利用実績について</p> <p>（2）令和7年4月1日以降の運行ダイヤの変更について</p> <p>（3）小型バス路線・循環線のGoogle マップでの経路検索開始について</p> | |
| 会議経過 | 別紙のとおり | |
| 会議資料等 | 別紙のとおり | |
| 議事録の確認 （記名押印） | <p>（委員長等）</p> <p>_____ 富田 健次 _____ ㊟</p> | |

(会議の経過)

| 発言者 | 議題・発言内容 |
|-----|---|
| 事務局 | ※開会 |
| 会長 | ※2あいさつ |
| 会長 | それでは3議事(1)地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について、事務局より説明をお願いします。 |
| 事務局 | ※議事(1)地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について説明 |
| 会長 | 意見等あるか。なければ、本案件は承認ということで良いか。 |
| 委員 | ※異議なし |
| 会長 | 続いて議事(2)路線バスのバス停新設について、事務局より説明をお願いします。 |
| 事務局 | ※議事(2)路線バスのバス停新設について、染河内川西線に新設予定のバス停「スポニックパークー宮」の設置個所、新規ルート、ダイヤについて説明 |
| 会長 | バス停を新設することによって乗車人数がどれほど増える見込みか。 |
| 事務局 | 現在スポニックパークでのスイミングスクールに1クラス30名の小中学生のクラスが3クラスあり、火曜日の休館日を除き、月から土曜日まで行われている。その中で、特に神野地区から国道沿を走る大型バスに乗って来る子どもたちが具体的にどれほどいるかは把握できていないが、現在はその両親が仕事を休んで送迎されているとのことで、そのスクールの生徒のうち数名でも利用があれば、結構な回数の乗車が見込めると思っている。 |
| 会長 | 他に意見等あるか。なければ、本案件は承認ということで良いか。 |
| 委員 | ※異議なし |
| 会長 | 続いて、議事(3)小型バス路線の運行日の変更案について、事務局及び |

| | |
|--------|---|
| | ウイング神姫より説明をお願いする。 |
| 事務局 | ※議事（3）小型バス路線の運行日の変更案について説明 |
| ウイング神姫 | <p>※資料により小型バス路線の令和6年4月～9月の平日と祝日の利用者数の比較について説明</p> <p>慢性的な運転士不足が続いているので、少しでも運転士の勤務数を減らしたい。そこで、利用が少ない小型バス路線の祝日を運休するところから行いたい。早ければこの4月から実施したい。</p> |
| 会長 | 意見等あるか。 |
| 委員 | 現在、小型バスは土日を運休されている。今回の資料を見ると祝日の利用は平日に比べてかなり少ないが、例えば小型バスを土日に運行するとしたら祝日の利用と同じような状況だと考えられるか。 |
| 委員 | 同じ状況だと思う。一概には言えないが、小型バスの利用者はほとんど高齢者の方で、土日や祝日は家族の方がいらっしゃるのではバスに乗れないのだと思う。 |
| 委員 | 個人的には土日でも乗るのかなという感覚があったが、高齢者の方は今おっしゃられたとおり平日にバスを利用されているのだと思う。 |
| 委員 | 資料を見ると循環線は祝日もある程度利用されていると思うが、こちらも運休されるのか。 |
| 委員 | 循環線は平日20人に対して祝日15人と他の小型バスと比べて乗っている状況のため、循環線については事務局と調整中。 |
| 委員 | 手続きとしては1週間前に掲示、30日前に届出があれば良いので、4月までには間に合うが、議事として上がっているので、知らない間に止めたとか動いているといったことはないようお願いする。 |
| 会長 | もう一度確認として兵庫陸運部の委員からご指摘のあったように、会議にかける以上は、いつから実施するかどの路線を対象にするかをある程度審議する必要があると思うが、詳細の説明をお願いしたい。 |

| | |
|------------|---|
| <p>委員</p> | <p>法律上の話をすると陸運部としては、運行をやめる場合には重大な問題ということで議論をいただいている。しかし、実際には議論しなくても半年前までに届出をすれば運行をやめることは可能。それとは別に、減便する場合は、減便する手続きの届出さえあれば法律上問題ないので、議論せず報告事項であっても陸運部として異議はない。</p> <p>今回は会議の議事であるので、一応、何等かの承諾を取るかと思うが、そちらについて陸運部として止めるものではなく、地域の皆様方に減便について了承をとるということは問題ない。</p> <p>ただ議事となっているにもかかわらず、循環線について悩まれているという回答だったので、今回は循環線以外について承諾を取り、循環線については次の機会に承諾をとるということでも構わないが、会社としてどのようにされるのかというところ。</p> |
| <p>委員</p> | <p>会社としては、運転士不足のため、循環線も祝日運休としたいが、こちらの会議で皆様の意見を伺って、循環線については様子を見るということであれば、それでも結構である。</p> |
| <p>委員</p> | <p>それで会社は大丈夫か。</p> |
| <p>委員</p> | <p>大丈夫。</p> |
| <p>委員</p> | <p>この資料を見ると、循環線以外の路線でもいくらか利用があるところがある。地元としては他の路線も残してもらいたい気持ちもある中、運転士不足のため無理は言えないが、せめて循環線だけは残すということで良いのではないか。</p> |
| <p>委員</p> | <p>循環線だけ様子を見ることとし、他の路線は運休としたいと思う。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>当初予定していなかったが、今回の会議で、来年度4月から小型バス路線の祝日運休により減便する場合、令和6年度地域内フィーダー系統補助金の4月から9月末の計画について、3月末までに協議を行った上で運輸局に届出する必要があるが、日程の都合により、対面で会議を開催するのは難しいため、書面により諮らせていただいてもよいか。</p> |
| <p>委員</p> | <p>陸運部として書面での協議自体は構わない。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>4月からの減便の実施自体は今回の議事の対象とし、フィーダー計画の変</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>更の協議については書面で後日行いたい。</p> |
| 委員 | <p>補助金に関係すると、いずれの場合も申請等経過報告が必要だが、バスの補助金の対象期間として、今は令和7年度、昨年10月から今年9月までの期間に入っているため、補助金の変更の手続きが必要ではないかということ。本来だともう1度、集まって議論し承認を得る手続きとなるが、4月まで日程の余裕がないので、書面協議により承認いただき、手続きをしていただくこととなる。</p> <p>ただ、今回の祝日の減便のみだとそれ程大きな変更にはならないと思われるので、軽微な変更手続きのみで良い。</p> |
| 会長 | <p>それでは循環線を除く小型バス路線について、4月より祝日は運休については承認として良いか。また、フィーダー補助金の計画変更については、後日書面協議により改めて諮るということで良いか。</p> |
| 委員 | <p>※異議なし</p> |
| 会長 | <p>続いて、議事(4) 宍粟市地域公共交通会議財務規程について、事務局より説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>※議事(4) 宍粟市地域公共交通会議財務規程について説明</p> <p>また、財務規程の制定と合わせて、国庫補助金連動化に対応するため、監事1名を2名に変更する宍粟市地域公共交通会議規約の改正について説明</p> |
| 会長 | <p>国庫補助金の連動化により地域公共交通会議で大きな金額を管理する必要がある。これまでは監事1名でも問題なかったが、今後は2名とすることでより監査をしっかりとってもらいたい。</p> <p>意見等あるか。なければ、本案件は承認ということで良いか。</p> |
| 委員 | <p>※異議なし</p> |
| 会長 | <p>続いて4報告(1)路線バス・三方繁盛つれてってカーの利用実績について事務局より説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>※報告(1)路線バス・三方繁盛つれてってカーの利用実績について事務局より説明</p> |

| | |
|--------|--|
| 会長 | 全国的な公共交通利用の状況はどうか。 |
| 委員 | 鉄道について通勤と観光ではかなり違う。通勤は、定期券利用の戻りが非常に遅い。週当たりの通勤回数が減ってしまうような場合には、定期券からそれ以外に移っているのと需要量自体が減っている。観光は、特に都市間の移動に使う新幹線は、コロナ前よりも増えているケースもある。バスについては、鉄道よりやや厳しく、コロナ前の状態にまったく戻っていない。鉄道で言うとコロナ前の9割という見方もあるが、バスはそこまで戻っていない。 |
| 会長 | ウイング神姫としてはどうか。 |
| 委員 | ここ1～2年で、戻ってきた感覚はあるが、コロナ前の水準には戻っていない。90%行くか行かないかぐらいの数。オンラインが一定、定着してしまった部分があり、そのあたりが戻ってこない理由だと思う。 |
| 会長 | 乗って守ることが大事であるため、事務局にはPR等お願いしたい。続いて報告(2)令和7年4月1日以降の運行ダイヤの変更について事務局より説明をお願いします。 |
| 事務局 | ※報告(2)令和7年4月1日以降の運行ダイヤの変更について事務局より小型バス路線のダイヤ改正の説明 |
| ウイング神姫 | ※大型バス路線のダイヤ改正の説明 |
| 会長 | 何か意見等あるか。なければ、続いて報告(3)小型バス路線・循環線のGoogle マップでの経路検索開始について事務局より説明をお願いします。 |
| 事務局 | ※報告(3)小型バス路線・循環線のGoogle マップでの経路検索開始について事務局より説明 |
| 会長 | 資料では城下線が例として上がっている。他の路線についても検索可能か。 |
| 事務局 | 市内の小型バス路線・循環バス路線について検索可能。大型バス路線については、以前より神姫バスにより整備済み。 |
| 事務局 | 続いて5その他について、ウイング神姫より市内路線バスの再編案につい |

| | |
|--------|---|
| | て提案があるため、説明をお願いします。 |
| ウイング神姫 | 宍粟市北部の一部再編を、検討している。運転士不足の中、限られた運転士を有効活用するため、利用の少ないところから削っていくしかない。実施時期は令和7年10月で、実施内容としては一部路線の減便、短絡化。具体的には西河内線の一部について、山崎から千種止めにし、千種から西河内間を小型バスで運行する形への変更を考えている。また、小型バス路線の全体的な見直しを行う。下三方線、戸倉線、水谷線、谷今市線、奥西山七野線、鷹巣線は見直し基準の1便当たり0.7人を切っており、見直しの対象となっている利用状況のため、それぞれ週1日運行への変更を考えている。 |
| 事務局 | 令和7年10月1日から再編するには、今後、この会議で諮る必要があるが、それまでの間に、各市民局を通じ、関係する自治会や利用者の方々の意見を伺いながら、ウイング神姫とも調整の上で取りまとめ、次回令和7年度1回目の会議（6月頃開催予定）で議事として提案をさせていただきたい。何か意見等あるか。 |
| 委員 | 先ほどの議事（3）の書面協議について伺いたい。運休について、書面がすべての委員に届き、それに対して賛成か反対か回答することで良いか。 |
| 事務局 | 再度確認を行うと、4月からの祝日の運休については、先ほどの議事として承認されたが、フィーダー系統補助金の計画について、運休開始前の4月までに諮る必要がある。そのため、書面を全ての委員の皆様へ送付し、回答書をいただき、承認されれば、結果を報告させていただく。 |
| 事務局 | 他に意見等あるか。 |
| 委員 | 用がないのにバスに乗ることはあまりない。なので、例えば市の方で何か行事を企画しても良いと思う。私はスポーツ推進委員をしているが、その行事が波賀であるとき、せめて役員だけでもバスに乗っていこうとバスに乗る。また、近所にある、まほろばの湯も守っていかないといけないので、バスに乗ってまほろばの湯へ行き、風呂に入ってからまたバスで帰って来てから役員会をするというように地道にこつこつやっている。そのようなことを市ですることでも利用者を増やせるのではないかと思う。 |
| 事務局 | バスの再編の直後は、そのような地域の施設と絡んだ取組も行っていただ |

| | |
|-----|---|
| 委員 | <p>で、来年度に向けてそういったことも改めてやっていきたい。</p> <p>例えばこういう会議の場にどのバスに乗れば来られるというように案内を行うだけでも、バスを使ってくださいという意思表示を市役所が出したことになる。そういうところからスタートするのも良い。また、利用促進として、とあるまちでは、広報紙で、「あなたがこのバスに乗って町の中心に行って、これに乗れば帰って来られます」というように自分で時刻表をうめられるという取組みをされているところがある。そのような場合、Googleマップ検索は非常に有効だが、自分の家からどのようにすれば買い物に行き帰って来られるというようなことを示すのが、地元の方々の使い方の一つ役に立つように思う。</p> |
| 事務局 | <p>参考にさせていただきたい。ほかに何か意見等あるか。</p> |
| 委員 | <p>私は実際にバスを運転しているが、運転免許返納された方が増えたのか、高齢者の方が少しずつ利用されている。バス停までの距離やベンチが無いところなど、利便性を上げていく必要があると思う。</p> <p>また、運転手は休日出勤、盆、正月も休みなく、拘束時間は平均 13 時間でやっている。そうすると辞めるものも多い。高齢化が進み、定年が近いものも多い。そういう現場の状況をお伝えする。</p> |
| 事務局 | <p>他に意見等あるか。</p> <p>※閉会</p> |

発言者の表記は、「〇〇委員」、「事務局」とする。